第７回定時総会

第７回定時総会

令和元年度第７回定時総会が開催され、各議案とも原案どおり承認された。

第７回定時総会が、令和元年５月28日㈫メルパルク松山（松山市）ラフィーネで正会員281名（委任状参加を含む）賛助会員６名が出席して開催された。

中畑副会長の開会宣言があり、続いて、会員の物故者に対し黙祷を捧げた。

西山会長の開会挨拶の後、表彰式に移り、愛媛県知事から産業廃棄物の適正処理を通じて生活環境の保全に寄与した個人１名、法人２社に対して感謝状が贈呈された。

また、協会長表彰として西山会長より功績のあった方々、功労者表彰３名、優良事業所表彰５社、優良従業者表彰５名に対して表彰状と記念品が贈呈された。

表彰者を代表して知事感謝状を受賞された株式会社都クリーン 常務取締役 青木美智夫氏から謝辞があった。

その後、愛媛県知事 中村時広様（代読 愛媛県県民環境部部長 岸本憲彦様） 愛媛県議会議長 西田洋一様（代読　愛媛県議会 環境保健福祉委員会 委員長 松尾和久様）、松山市長 野志克仁様（代読　松山市環境部部長 藤本則彦様）から祝辞を賜った。

会長あいさつ

ご来賓の方々

第７回定時総会

第７回定時総会会長あいさつ

一般社団法人えひめ産業資源循環協会
会長　西　山　　周

第７回定時総会にあたり、協会を代表してご挨拶を申し上げます。

まずは本日の総会に愛媛県の中村時広知事代理岸本憲彦県民環境部長様、愛媛県議会の西田洋一議長代理松尾和久環境保健福祉委員会委員長様、松山市の野志克仁市長代理藤本則彦環境部長様を始め、多数の御来賓の方々に公務多忙の中をご臨席いただき厚く御礼を申し上げます。

また、本日、表彰を受けられる皆々様には永年の協会活動へのご協力を感謝いたしますと共に心からのお祝いを申し上げます。

そして、会員の皆様には、平素より協会の事業運営に格別のご理解とご協力を頂いております事を衷心より御礼申し上げます。

当協会は、本年４月１日に名称をえひめ産業資源循環協会に改め、令和の新しい時代に、産業廃棄物の適正処理に加え、廃棄よりも再使用、再生利用等の３Ｒを第一に考え、新たな資源の導入をできるだけ抑え排出物を抑制していく経済社会システム「循環型社会」をより目指して取り組んでいくこととしております。

次に、平成30年７月豪雨災害において本県で約25万トンの災害廃棄物が発生し、これらの処理にあたり、会員の皆様には、大洲市の災害廃棄物勝手仮置場の撤去活動や、松野町の災害廃棄物の広域処理への支援等にご協力いただき誠にありがとうございました。また、個別に市町の災害廃棄物処理への協力支援大変ご苦労様でした。皆様の災害廃棄物処理支援に対して、愛媛県から本年2月28日知事感謝状が授与されました。

近年、地球温暖化に由来するといわれる集中豪雨発生の頻度は増しており、この様な災害は毎年起こることを想定しておかなければならない時代となっております。会員の皆様も被災した時に事業継続ができるようＢＣＰ計画を策定しておく等災害への備えを万全にし、災害時には地域社会の一員として行政や住民を支援できる事業者になっていただきたいと思います。協会では今回の災害の経験を踏まえ、県との災害廃棄物支援協定のみではなく、災害廃棄物処理の主体である各市町と協定を締結しておくことが必要と痛感しましたので現在協定の早期締結に向け協議をしております。

さて、我々産業廃棄物処理業が担う役割は、今までの廃棄物の適正処理による生活環境の保全及び公衆衛生の向上に加え、循環型社会

の実現と低炭素社会への寄与という新たなステージに変化してきております。産業廃棄物処理の単なる受け手から、産業廃棄物から資源やエネルギーを製造する創り手へ、また、地域社会と連携し、地域の雇用創出、地域経済の発展、地域循環圏の構築等に貢献することが求められております。しかしながら、産業廃棄物処理業の企業は、ほとんどが中小企業であり、このようなニーズや期待に応えるにあたっては、人材の育成確保、技術の向上、事業の成長と高度化といった面で困難なことも多いですが、協会としては、産業廃棄物処理業の社会的地位を向上させるため、優良産業廃棄物処理業者の育成を行うための各種研修会の開催や情報提供、また、３Ｒシステム事業化促進支援事業等の補助事業も行っておりますので積極的な活用をお願いします。

次に、今年度は平成29年度から開始した労働災害防止計画の目標「死亡者０、死傷者20％減」の目標年度となっております。廃プラスチック問題が発生する中、会員企業でも中間処理施設や最終処分場で火災が複数確認されたり、転落・巻き込まれ等の重大労働災害事故も発生しております。協会としては、会員各社が労働災害防止対策を推進し、安全衛生水準のなお一層の底上げができるよう取り組むため、研修会の開催、ポスター等の配布、安全衛生情報提供を図っておりますので、積極的に協会活動に参加して社内の安全衛生管理体制を充実させ、なお一層の労働災害防止に努めてください。

最後に、本日は、前年度の事業報告と決算の承認に加え、新年度の事業及び予算の報告、役員選任を予定しておりますので、よろしくご審議のほどお願いいたしまして開会の挨拶とします。

第７回定時総会

祝　　辞

愛媛県知事　**中　村　時　広**

本日、一般社団法人えひめ産業資源循環協会の第7回定時総会が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

貴協会におかれましては、日頃から、産業廃棄物の適正な処理を通じ、県民の生活環境の保全に尽力されており、深く敬意を表しますとともに、今年度から「一般社団法人えひめ産業資源循環協会」に名称を変更され、資源循環に向けた取り組みの強化を図られますことは、本県における循環型社会の形成促進に大きく寄与するものと、誠に心強く存じます。

また、さきほど、長年にわたる御功績により、感謝状並びに表彰を受けられました方々には、その御栄誉を心からおたたえし、今後一層の御活躍を期待いたします。

さて、本県では、昨年の西日本豪雨災害により、多くの尊い人命が失われたほか、家屋や店舗の浸水、道路や河川等の公共土木施設の損壊、更には、推計２６万トンにもおよぶ災害廃棄物の発生など、これまでに経験したことがない甚大な被害が生じました。

そうした中、皆様方には、災害廃棄物の収集運搬や処理、ボランティアによる広域処理の支援など、災害廃棄物の適正かつ円滑な処理に力を尽くされますとともに、被災された方々に対する義援金を頂戴するなど、被災地の迅速な復旧・復興を支えていただき、改めて厚くお礼申し上げます。

県におきましては、被災者の方々が一日も早く元の生活を取り戻すことができるよう、「オール愛媛」でスピード感をもった復興に全力を挙げるほか、南海トラフ地震等の大規模災害に備え、今回の豪雨災害の教訓をふまえた実効性のある災害廃棄物処理体制の構築に努めて参る所存です。

また、資源循環社会の形成と安全・安心な自然環境の保全に向け、「第四次えひめ循環型社会推進計画」に基づき、３Ｒや廃棄物の適正処理の推進、循環型社会ビジネスの振興などの各種施策を積極的に展開しているところです。

どうか皆様方には、こうした取り組みに御理解をいただきますとともに、今後とも、被災地の復興と環境に配慮した持続可能な地域づくりにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、一般社団法人えひめ産業資源循環協会のますますの御発展と、御出席の皆様方の御健勝、御活躍を祈念申し上げまして、祝辞といたします。

第７回定時総会

祝　　辞

愛媛県議会議長　**西　田　洋　一**

一般社団法人えひめ産業資源循環協会の第７回定時総会が開催されるに当たり、県議会を代表してごあいさつを申し上げます。

皆様方には、産業廃棄物の適正な処理や資源循環に関する事業活動を通じて、本県の環境保全と県民の安心・安全な生活の確保のために、多大の御尽力を賜っており、厚くお礼申し上げます。

また、先ほど表彰を受けられました皆様には、心からお喜びを申し上げますとともに、今後一層の御活躍を期待いたします。

さて、貴協会におかれましては、今年の４月から、えひめ産業資源循環協会と名称を変更され、産業廃棄物の適正処理に加えまして、資源循環への取り組みに力を注いでいかれる決意の表れと受け止められ、誠に頼もしい限りであります。

御案内のとおり、昨年７月に発生した西日本豪雨では、南予地域を中心に、県内各地で土砂災害や浸水害等の甚大な被害を受け、その際、大量に発生した災害ごみの処理が大きな問題となりましたが、産業廃棄物処理業界の皆様には、災害廃棄物の運搬や分別などに御協力いただき、被災した県民が安心して暮らせる生活を取り戻せるよう御尽力いただきましたことに、心からお礼申し上げます。

また、貴協会の会員の皆様には、日頃から、調査研究や講習会等の実施、普及啓発・広報活動に加え、社会貢献にも励むなど、産業の健全な発展のみならず、公衆衛生の向上や生活環境の保全にまで御尽力をいただいており、誠に心強い限りであり、この場をお借りして感謝申し上げます。

県議会といたしましても、循環型社会の構築に向けて全力で取り組んで参る所存でありますので、皆様方におかれましては、今後とも、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、えひめ産業資源循環協会のますますの御発展と、御出席の皆様の御健勝、御多幸を心から祈念いたしまして、ごあいさつといたします。

第７回定時総会

祝　　辞

松山市長　**野　志　克　仁**

本日，一般社団法人 えひめ産業資源循環協会第７回定時総会が，関係者の皆様の御出席の下，盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

皆様には，日頃から資源が良好に循環する環境づくりなど松山市に特別の御理解と御協力をいただき，厚くお礼を申し上げます。

先ほど表彰を受けられた皆様には，長年にわたる産業廃棄物の適正処理への御貢献に敬意を表しますとともに，今後の御活躍を心からお祈りします。

さて，昨年７月の西日本豪雨では，松山市でも土砂崩れなどの被害があり，家屋が損壊するなど，多くの災害廃棄物が発生しました。

関係者の皆様には，大量の災害廃棄物を処理する大変な作業に迅速に御対応をいただき，心からお礼申し上げます。

松山市では，こうした経験から，災害廃棄物の処理ルートや処理方法を整理するとともに，関係機関と連携を強化するなど災害廃棄物処理計画を見直しました。

この計画を着実に進め，さらに災害に強いまちづくりを実現するには，貴協会と日頃から連携することが重要です。これからもお力添えをいただきますようお願いします。

結びに，一般社団法人　えひめ産業資源循環協会の一層の御発展と，御出席の皆様の御活躍を心からお祈りし，私の挨拶とします。

第７回定時総会

日　時　　令和元年5月28日㈫　15：00
場　所　　メルパルク松山（郵便貯金会館）

議　　事

第１号議案　平成30年度事業報告並びに収支決算の承認に関する件
（報告事項）　令和元年度事業計画並びに収支予算の報告に関する件
第２号議案　役員の選任に関する件
第３号議案　総会決議事項の補正変更の委任に関する件
　各議案ともに審議の結果、原案どおり承認された。

総会の様子

総会の様子

　講演会に移るまでの間に㈱西田興産から提供があった平成30年７月豪雨災害ＤＶＤを上映、引き続き下記の演題により講演会を開催した。
　　演題　「平成30年７月豪雨に係る災害廃棄物処理について」
　　講師　愛媛県県民環境部環境局　局長　宇佐美　伸次　氏
またその間、別会場にて新役員による理事会を開催し、会長（代表理事）、副会長、専務理事の互選を行った。
新役員については、別表のとおり。

講演会の様子

講師　宇佐美局長

懇親会

総会終了後、懇親会を行った。

初めに、理事会での互選結果を発表した。

会長（代表理事）西山周、副会長中畑孝介、岩岡一平、今井基博、専務理事水口定臣（敬称略）

代表して西山会長より開会のあいさつがあり、続いて、愛媛県知事代理の原昌史副知事、参議院議員山本順三氏代理の山本舞祈子夫人からご挨拶を賜わり、森髙顧問の乾杯の音頭により開宴、多数の来賓の皆様を交えて終始、和やかな雰囲気の中で会員相互の親睦を深めた。

西原顧問による中締めの挨拶のあと、岩岡副会長より閉会の挨拶があり盛会裏に終了した。

今井副会長、岩岡副会長、西山会長、中畑副会長、水口専務理事

原副知事

森髙顧問による乾杯

西原顧問による中締め

懇親風景

令和元年度　一般社団法人　えひめ産業資源循環協会役員名簿

（令和元年５月28日）

役職名	氏　　名	現　職　名
会　　長	西　山　　周	㈱トータス・グリーン
副 会 長	中　畑　孝　介	愛媛砂利㈱
同	岩　岡　一　平	㈲伊予開発
同	今　井　基　博	㈱住共クリエイトサービスセンター
専務理事	水　口　定　臣	（一社）えひめ産業資源循環協会
理　　事	貴　田　敏　幸	㈱みたらい
同	佐々木　隆　二	㈲佐々木産業
同	白　石　泰　雄	㈱三興
同	本　田　　明	住鉱物流㈱
同	青　野　通　久	四国環境整備興業㈱
同	村　上　正　一	㈱イージーエス
同	大　野　剛　嗣	オオノ開發㈱
同	濱　口　　誠	㈲吉田町清掃社
同	児　玉　誠一郎	城東開発㈱
同	安　藤　東洋治	㈱西田興産
同	髙　橋　辰　夫	タツミ企業㈲
同	富　久　大　輔	㈱富久
同	小田原　大　造	㈱酒井組
同	大　西　良　樹	㈲ジー・シー・オー
同	三　谷　眞　司	グローバル環境サービス㈱
監　　事	桑　原　涼　一	桑原運輸㈱
同	小　池　正　照	㈱カネシ口
同	佐　伯　直　輝	佐伯公認会計士事務所

第７回定時総会

知事感謝状贈呈者

○ 知事感謝状（個人）

青木　美智夫　殿（謝辞）
（松山市：
株式会社都クリーン
常務取締役）

○ 知事感謝状（法人）

松美産業株式会社　殿
（松山市：収集運搬業）

四国環境整備興業株式会社　殿
（今治市：収集運搬業）

謝辞（株式会社都クリーン　常務取締役　青木美智夫氏）

第７回定時総会

会長表彰受賞者

○ 功労者表彰（規定第４条２号該当）

桑原　涼一　殿
（新居浜市
桑原運輸株式会社）

西村　直樹　殿
（松山市
株式会社西村商事）

井上　剛　殿
（八幡浜市
有限会社マルイ）

○ 優良事業所表彰（規定第４条３号該当）

株式会社垂水工務店　殿
（新居浜市
代表取締役　垂水繁忠）

有限会社泉金属商会　殿
（新居浜市
代表取締役　岩下侑司）

愛媛故繊維再生株式会社　殿
（松山市
代表取締役　吉田稔）

三協商事株式会社　殿
（松山市
代表取締役　白石一隆）

新興運輸株式会社　殿
（内子町
代表取締役　上野勝利）

○ 優良従業者表彰（規定第４条４号該当）

青木　大和　殿
（新居浜市
株式会社イージーエス）

福岡　修　殿
（新居浜市
株式会社イージーエス）

一色　錠二　殿
（新居浜市
株式会社住共クリエイトサービズセンター）

泉　信次　殿
（伊予市
有限会社伊予開発）

宮岡　慎次　殿
（内子町
エコブリッジ株式会社）

協会ニュース

令和元年度　第１回企画広報委員会の開催

第１回企画広報委員会を令和元年５月８日㈬、協会会議室で開催した。

１．議　題

⑴　名称変更に伴う会報誌のタイトル変更について

・季刊　「えひめの資源循環」第１号とすることに決定。

・題字は岡本副委員長の知り合いの書道家に依頼する。

・表紙デザインは案のまま愛媛らしい色「上はオレンジ下をグリーン」とする。

・デザイン案をメールで送るので確認すること。

・タイトル下の「５月号」を削除

・記事ページのデザインは上部の柄は無しにして、協会ニュースの横にアイコンのようなものがある方のデザインとする。

⑵　「えひめの資源循環」第１号（５月号）企画編集について

・裏表紙写真　⑦の写真に決定

・ページが多いので行政ニュースの土砂条例、連合会ニュースの熱中症クールワークキャンペーンの一部をカットする。

⑶　名称変更に伴う会員システムのリニューアルについて

・３月末に試作品完成、ボタンをクリックするだけで名簿印刷ができるようにする予定。

⑷　ホームページについて

・１月から３月のアクセス解析の報告。

⑸　その他

①「えひめの資源循環」第２号（８月号）の表紙について

・表表紙…８月号は県指定の「薬師堂の逆枝の公孫樹」に決定（松野町）

・裏表紙…仙遊寺（撮影者　貴田委員）

②次回委員会の開催日について

・第２号（８月号）　令和元年８月７日㈬13：30～（予定）

・編集後記…新委員長

・新メンバーになるので委嘱状送付とともに開催日は連絡する。

上記の内容について協議し、「えひめの資源循環」第１号（５月号）を５月末に発行した。

協会ニュース

令和元年度　第１回事業委員会の開催

第１回事業委員会を令和元年７月４日㈭、協会会議室で開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

１．議　題

⑴　委員長及び副委員長の選出について

事務局から、委員会設置規程により、委員長は委員の互選とし、副委員長は委員長が指名することとなっていると説明し、互選により委員長には貴田敏幸氏が選任され、副委員長には本田明氏が指名された。

⑵　令和元年度講習会及び研修会計画について

事務局から資料に基づき、許可申請に関する講習会、愛媛県受託事業研修会、松山市受託事業研修会及び全産連受託事業電子マニフェスト操作体験セミナーの開催計画と全産連主催人材育成プログラムに関する研修会、ＢＣＰ計画策定研修会の令和元年度計画の説明があり承認された。

⑶　県外視察研修について

事務局より、資料に基づき、平成30年７月豪雨災害の対応について岡山・倉敷（バス一泊二日）定員40名の視察案の説明がり、具体的計画を策定することで承認された。

⑷　四国八十八箇所遍路道清掃活動事業について

事務局より、各保健所と協議した結果、現在は遍路道周辺で実施するか未定である説明があり、西条地区か八幡浜地区のどちらかで実施することで今後県と協議していくことで承認された。

⑸　その他

事務局より、当協会が来年40周年にあたり記念行事について意見を求めたところ、名前が残るものを贈呈したらよいとの意見があり、理事会に報告することとなった。

事務局より、６月24日に愛媛県、全市町及び協会の災害廃棄物処理協力協定を締結したことを報告し、事業委員会が災害支援の機材等供給班になっている旨の説明があった。

２．報告事項

⑴　平成30年度講習会及び研修会実績について

事務局より、資料に基づき実績報告があった。

他に意見なく閉会した。

協会ニュース

令和元年度　第１回安全衛生委員会の開催

第１回安全衛生委員会を令和元年７月18日㈭、協会会議室で開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

１．議　題

⑴　委員長及び副委員長の選出について

事務局から、委員会設置規程により、委員長は委員の互選とし、副委員長は委員長が指名することとなっていると説明し、互選により委員長には青野通久氏が選任され、副委員長には小田原大造氏が指名された。

⑵　労働災害防止計画について

事務局より資料に基づき、平成30年度産業廃棄物処理業の労働災害現状、平成30年度労働災害防止計画の実施状況及び令和元年度安全衛生事業計画の説明があった。

⑶　火災対策について

事務局より資料に基づき、産業廃棄物処理施設関係の火災発生状況、火災防止対策及び火災発生後の対応について説明があった。

また、愛媛県より「産業廃棄物処理施設等における火災対策の徹底について」通知文書と協会より会員への通知文書の説明があった。

⑷　その他

細野氏から、松山地区で安全衛生の研修会を開催する旨の説明があった。

委員会より、各地区において安全衛生活動の取り組みについて、研修会を行うよう理事会に図ることとなった。

他に意見なく閉会した。

協会ニュース

令和元年度　第２回総務委員会の開催

第２回総務委員会を令和元年７月30日㈫、協会会議室で開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

１．議　題

⑴　委員長及び副委員長の選出について

事務局から、委員会設置規程により、委員長は委員の互選とし、副委員長は委員長が指名することとなっていると説明し、互選により委員長には西山周氏が選任され、副委員長には岩岡一平氏が指名された。

⑵　災害廃棄物協定について

事務局より資料に基づき、愛媛県と市町と（一社）えひめ産業資源循環協会との災害廃棄物等の処理等に関する協定について説明があり、災害時における災害廃棄物等の処理等の協力に関する協定の締結にともない、協会の災害時における復旧支援規程について一部修正の説明があり、案のとおり理事会に諮ることとなった。

⑶　顧問・行政懇談会について

事務局より資料に基づき、実施時期、場所、時間について説明があり、10月３日に決定し、理事会に諮ることとなった。

また、議題について全役員及び地区に提出を求めることとし、理事会に諮ることとなった。

⑷　新規会員加入及び退会の承認について

事務局より、退会（正会員１社）、休会（正会員１社）について説明があり、理事会に諮ることとなった。

また、事務局より、会費徴収状況について正会員１社が会費規程第８条に該当する旨の説明があり、協会業務の停止を理事会に諮ることとなった。

⑸　組織強化について

事務局より、資料により現状の地区別会員数の説明があり、未加入業者への加入勧誘を図っていくこととなった。

協会ニュース

令和元年度　第３回理事会の開催

第３回理事会を令和元年７月30日㈫、協会会議室で開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

１．議　題

⑴　災害廃棄物協定について

事務局より資料に基づき、愛媛県と市町と（一社）えひめ産業資源循環協会との災害廃棄物等の処理等に関する協定について説明があり、災害時における災害廃棄物等の処理等の協力に関する協定の締結にともない、協会の災害時における復旧支援規程について一部修正の説明があり、案のとおり承認された。

⑵　顧問・行政懇談会について

事務局より資料に基づき、実施時期、場所、時間について説明があり、10月３日に決定し、案のとおり承認された。

また、議題について全役員及び地区に提出を求めることとした。

⑶　火災対策について

事務局より資料に基づき、最近の産業廃棄物処理施設関係の火災発生状況について説明があり、火災予防対策と発生時対応について、再度会員に周知することとなった。

また、墜落・転落注意ステッカーについて会員に配布する説明と、髙橋理事より、西条地区会員会社安全衛生パトロール・見学会開催の説明があり、安全衛生地区活動を積極的に推進することとなった。

⑷　県外視察研修について

事務局より資料に基づき、水島エコワークス㈱及び岡山県災害廃棄物処理業務共同企業体に９月18日から19日に県外視察研修の説明があり、案のとおり承認された。

⑸　新規会員加入及び退会の承認について

事務局より資料に基づき、退会（正会員１社）、休会（正会員１社）について説明があり、承認された。

また、事務局より、会費徴収状況について、正会員１社が会費規程第８条に該当する旨の説明があり、協会業務の停止することが承認された。

２．報告事項

⑴　委員会報告

⑵　全産連報告

事務局より資料に基づき、一括して委員会等の概要報告があった。

３．その他

⑴　ＰＣＢ使用安定器等の期限内適正処理及びアンケート調査の協力について

⑵　「事業継承勉強会」、「個別相談会」企画のご案内

⑶　今後の行事予定

事務局より資料に基づき、全産連、その他の今後の行事予定の報告があった。

協会ニュース

2019年度　産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会の開催

廃棄物処理法に規定された産業廃棄物処理業の許可申請等に必要な専門的知識・技能の修得のため、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターが毎年実施している講習会が松山市のリジェール松山で開催された。

○　**産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程（更新）**

開 催 日　　令和元年６月12日㈬

受講者数　　124名

○　**産業廃棄物の収集・運搬課程（新規）**

開 催 日　　令和元年７月10日㈬～11日㈭

受講者数　　122名

協会ニュース

平成31年度　優良産業廃棄物処理業者育成研修の開催

愛媛県からの受託事業である優良産業廃棄物処理業者育成研修会を、専門の講師を招き産業廃棄物処理業者を対象に下記の日程で開催した。

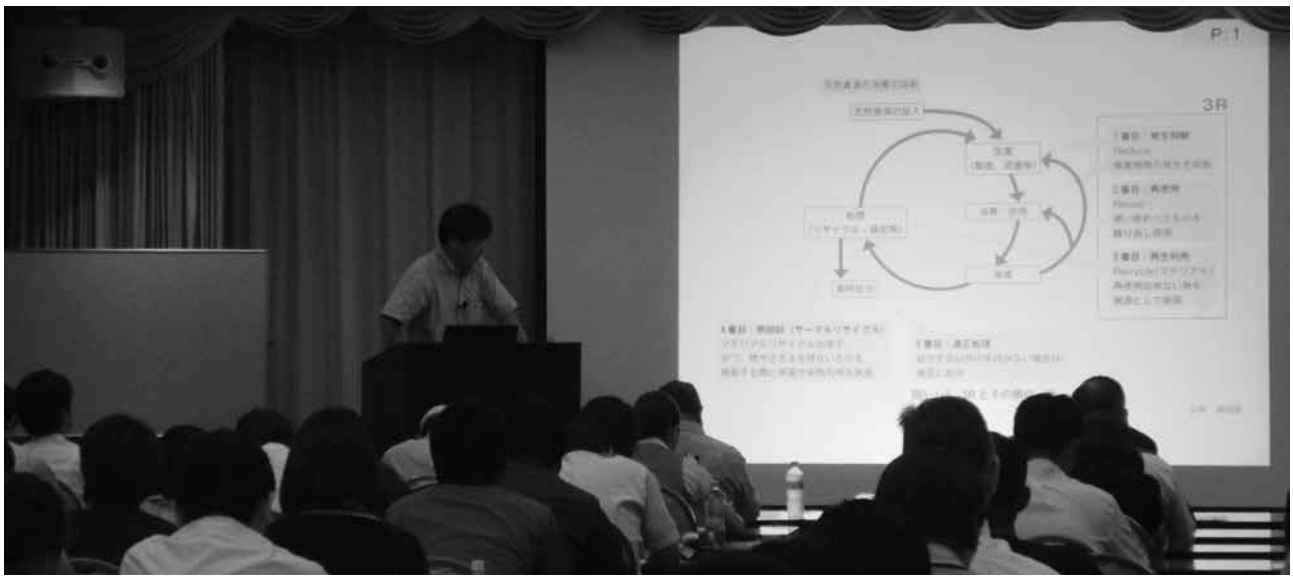
○　**産業廃棄物処理の実務者研修（基礎編）**

開 催 日　　令和元年７月24日㈬

受講者数　　111名

研修内容　　①　開講挨拶

②　産業廃棄物処理の基礎（講師　岩田　隆氏）



協会ニュース

令和元年度　３Ｒシステム事業化促進支援事業が決定

３Ｒシステム事業化促進支援事業につきましては、４月15日から５月25日まで会員に対して募集したところ、３件の応募があり、６月３日事業審査会を開催して学識経験者及び行政による厳正な審査をしたところ、全件とも採択されました。

また、協会が行う３Ｒシステム等調査研究事業については、検討会を設置し、再資源化技術について分析検討や調査研究視察を行い循環型社会ビジネスの事業化について取りまとめるとともに、災害時における対応強化のため、災害対応知識の向上を図るための講演会や伝達訓練を行う他、災害時に支援可能な資機材調査を行いますので、会員の皆様の積極的なご参加をお願いします。

補助金の種類	補助対象事業	補助率	採択事業	補助額
３Ｒシステム事業化促進支援事業費補助金（会員）	ア　研究・開発事業 県内の産業廃棄物の３Ｒ及び減量化・製品化に資するための研究・開発及びそれを踏まえた機器整備	３/４以内 補助限度額 500万円	㈲ジー・シー・オー 過熱水蒸気によるリサイクル事業化技術研究開発	500万円
			㈱イージーエス イオン交換樹脂等によるレアメタル等回収の効率化研究	500万円
	イ　技術・設備導入事業 産業廃棄物の３Ｒ及び減量化・製品化の推進に係る技術及び設備の導入	１/３以内 補助限度額 500万円	㈱ロイヤルアイゼン 食品リサイクル堆肥化設備導入事業	500万円
３Ｒシステム等調査研究事業（協会）	調査研究事業費 産業廃棄物の３Ｒのリサイクルシステム、新たな再資源化技術、災害時のＢＣＰ計画・災害廃棄物処理計画の策定等に資する調査研究	３/４以内	えひめ産業資源循環協会 ３Ｒシステム技術研究調査事業	300万円

補助金総額1,800万円

協会ニュース

災害時における災害廃棄物等の処理の協力に関する新協定を愛媛県及び全市町と締結

平成30年７月豪雨災害において、市町との協力体制や発災直後における迅速な初動対応が課題となったことから、新たな処理体制を構築するため、６月24日新協定を締結しました。

主な改正内容等

○　災害廃棄物の処理主体となる市町を加えた、県・全市町・協会の３者協定。

○　災害廃棄物処理をより迅速に行うため、応援要請は市町から協会に直接行うことを基本とし、県は、災害廃棄物処理が円滑に進むよう調整を行う。
　ただし、市町が対応できない場合は、従前どおり県が応援要請することも可。

○　災害に備え、平常時より災害廃棄物処理計画や協会会員が提供可能な資機材等の情報共有を図るなど継続的に協議を行う。

○　協会は応援要請時において協力会員を紹介して、市町と会員が直接やりとりすることを可とする。

○　県外災害廃棄物の処理について、県が協会に対し応援要請を行った場合は、協会は可能な限り協力する。

○　平時から、災害廃棄物処理計画や協会会員が保有する車両や資機材の情報共有を図るなど、継続的に協議を行う。

○　県及び市町は、災害廃棄物等の処理等に円滑な協力が得られるよう、協会に被災、復旧の状況等の必要な情報を適宜提供する。

○　協会（会員）は、災害廃棄物等の処理の実施に当たって、周辺の生活環境を損なわないよう十分配慮し、災害廃棄物等の再利用及び再資源化に配慮し、分別の徹底に努める。

○　災害廃棄物処理に要する費用は、災害発生直前における適正な価格を基準とする。